

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

2026/1/16

協議会名: 沖縄県離島航空路確保維持協議会

評価対象事業名: 令和7年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
琉球エアコミューター(株)	宮古-多良間線 島民の生活路線として1日2往復運航	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A <p>1. 提供座席数は、目標の70,650席に対して、71,900席となる見込み(達成率101.8%)。</p> <p>2. 運航回数は、目標の1,413回に対して、1,438回の見込み(達成率101.8%)。</p> <p>3. 旅客輸送量は、目標の44,164人に対して52,392人となる見込み(達成率118.6%)。</p> <p>4. 搭乗率は、目標の62.5%に対して72.9%となる見込み(達成率116.6%)。</p> <p>5. 貨物輸送量は、目標の290,656kgに対し、301,164kgになる見込み(達成率103.6%)</p>	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

2026/1/16

協議会名: 沖縄県離島航空路確保維持協議会

評価対象事業名: 令和7年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
琉球エアコミューター(株)	那覇-久米島線 島民の生活路線として1日4~6往復運航	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <p>1. 提供座席数は、目標の168,200席に対して、171,750席となる見込み(達成率102.1%)。</p> <p>2. 運航回数は、目標の3,364回に対して、3,436回の見込み(達成率102.1%)。</p> <p>3. 旅客輸送量は、目標の136,231人に対して141,530人となる見込み(達成率103.9%)。</p> <p>4. 搭乗率は、目標の81.0%に対して82.4%となる見込み(達成率101.7%)。</p> <p>5. 貨物輸送量は、目標の1,037,488kgに対し、1,007,800kgになる見込み(達成率97.1%)</p>	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)案

協議会名：沖縄県離島航空路確保維持協議会

評価対象事業名：令和7年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性 令和7年度	⑤目標・効果達成状況 令和7年度	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) 令和7年度
日本トランスオーシャン航空(株)	那覇－久米島線 島民の生活路線として1日1 往復運航	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <p>1. 提供座席数は、目標の120,120席に対して、125,895席の見込み(達成率104.8%)。</p> <p>2. 運航回数は、目標の728回に対して、769回の見込み(達成率105.6%)。</p> <p>3. 旅客輸送量は、目標の52,450人に対して68,809人に見込み(達成率131.2%)。</p> <p>4. 搭乗率は、目標の43.7%に対して54.7%の見込み(達成率125.1%)。</p> <p>5. 貨物輸送量は、目標の188,047kgに対し、172,813kgの見込み(達成率91.9%)。</p>	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

2026/1/16

協議会名: 沖縄県離島航空路確保維持協議会

評価対象事業名: 令和7年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
琉球エアークommuter(株)	那覇ー与那国線 島民の生活路線として1日2往復運航	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <p>1. 提供座席数は、目標の70,900席に対して、71,900席となる見込み(達成率101.4%)。</p> <p>2. 運航回数は、目標の1,418回に対して、1,438回の見込み(達成率101.4%)。</p> <p>3. 旅客輸送量は、目標の44,388人に対して39,440人となる見込み(達成率88.9%)。</p> <p>4. 搭乗率は、目標の62.6%に対して54.9%となる見込み(達成率87.7%)。</p> <p>5. 貨物輸送量は、目標の382,277kgに対し、301,669kgになる見込み(達成率78.9%)</p>	<p>1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p>2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。</p> <p>3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。</p> <p>4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

2026/1/16

協議会名: 沖縄県離島航空路確保維持協議会

評価対象事業名: 令和7年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
琉球エアークommuter(株)	那覇ー北大東線 島民の生活路線として1日1往復運航	-	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 1. 提供座席数は、目標の34,950席に対して、35,200席となる見込み(達成率100.7%)。 2. 運航回数は、目標の699回に対して、704回の見込み(達成率100.7%)。 3. 旅客輸送量は、目標の22,596人に対して20,369人となる見込み(達成率90.1%)。 4. 搭乗率は、目標の64.7%に対して57.9%となる見込み(達成率89.5%)。 5. 貨物輸送量は、目標の215,085kgに対し、146,279kgになる見込み(達成率68.1%)	1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。 2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇-沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。 3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。 4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

2026/1/16

協議会名: 沖縄県離島航空路確保維持協議会

評価対象事業名: 令和7年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
琉球エアークommuter(株)	那覇-南大東線 島民の生活路線として1日2往復運航	-	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 1. 提供座席数は、目標の69,800席に対して、69,100席となる見込み(達成率99.0%)。 2. 運航回数は、目標の1,396回に対して、1,382回の見込み(達成率99.0%)。 3. 旅客輸送量は、目標の43,762人に対して38,148人となる見込み(達成率87.2%)。 4. 搭乗率は、目標の62.7%に対して55.2%となる見込み(達成率88.0%)。 5. 貨物輸送量は、目標の348,550kgに対し、290,279kgになる見込み(達成率83.3%)	1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。 2. 多様化するお客様や旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州-那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施し沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島及び久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図る。 3. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。機体及び部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図る。 4. 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図る。